

## 溶湯清浄装置『静波』

製品紹介 ガス吹き込み式の溶湯処理において、脱ガス効果を達成する事に加え、溶湯内での酸化皮膜の増加による品質低下を防ぐ工夫が必要です。溶湯清浄装置『静波』は、その名の示す通り極めて静かな溶湯表面を保持しながらガスを拡散させますので、表面にあるドロスが溶湯内部へ巻き込まれて酸化皮膜が増加することはありません。また、溶湯内部では十分な攪拌とガス拡散で脱ガスを効率的に行う新しい溶湯清浄装置です。脱ガス時の酸化皮膜増加抑制は、『静波』の一大特徴である、シャフトの正・逆回転方式によって初めて達成されました。

## 正・逆回転方式の特徴



- ① 溶湯内の攪拌が隅々まで行き渡り、脱ガス効果が優れています。
- ② 酸化皮膜の溶湯内への混入が少なく、メタルの品質が向上します。
- ③ シャフトの回転数が小さい事、脱ガス時間が短い事により、消耗品の損耗料が少なくコスト安になります。
- ④ 脱ガス後の沈静時間が短縮できるので、設備の効率的な使用が図れます。
- ⑤ 脱ガス処理時に発生する酸化物の生成量が少ないので、メタルの損失減少になります。
- ⑥ 脱ガス処理に要する全体時間の短縮化により、その間のメタル温度の低下が緩和され省エネに寄与します。